



中 箴 博之 議員

## 補助金制度のあり方を議論しよう

### パブリックコメント

**問** パブリックコメントに期待するものは。

**答** 部分的な修正というよりも、提案した案件の基本的な考え方について意見を求め、きちんと反映できるような、政策形成の最終段階ではなく、早い時期に行うことを考えている。

### 水道事業の経営戦略

**問** 全国的に水道料金を値上げする自治体が増えているが高山市のシミュレーションは。

**答** 料金体系を見直さなくとも、経営が悪化する状況ではない。

**問** 水道事業の経営戦略が必要では。

**答** 水道事業を安定的に継続運営する上で基本となる投資・財政計画

を検討している。

**問** 公共インフラの更新については、基となる長期のグランドデザインが必要では。

**答** 当面はそれぞれの分野で将来を見据えて第八次総合計画の策定を進めているところで、それが市のグランドデザインにつながるべく考えている。

### 補助金のあり方

**問** 補助金の内訳と全体像は。

**答** 総額33億円のうち市単独で25億円、うち団体の運営補助が3億5千万円、事業補助が29億5千万円となっている。

**問** チェック体制は万全か。

**答** 補助率や執行状況、目的や内容が適正かど

うか、経費や補助額が妥当かどうかなど、統一的な視点で審査し交付決定している。

**問** 検討委員会を設置するなどして、補助金のあり方についての検討が必要では。

**答** 新たな市民ニーズに対応していくため、既存の補助制度について必要性・公平性・有効性なども客観的に評価し、廃止を含めた見直しを検討していく必要があると考える。

**問** 補助金の適正化基準を定めるべきでは。

**答** 今後の見直しや新設にあたっては、公益性の観点から一定の基準は必要と考える。



## 高山市議会が

# 第9回マニフェスト大賞 成果賞部門で優秀賞受賞!

今年度で第9回を迎えるマニフェスト大賞は、マニフェスト賞、成果賞、政策提言賞、ネット選挙・コミュニケーション戦略賞、復興支援・防災対策賞の5部門に、これまでの最多となる2,223件、1,459団体の応募がありました。

今回のマニフェスト大賞では、これまで高山市議会が取り組んできた第八次総合計画策定に向けた政策提言への取り組みや、昨年度開催した高山西高等学校の生徒によるディベートを取り入れた市民意見交換会の開催に関する取り組みについて成果賞に応募したところ、今回の受賞となりました。

## マニフェスト大賞とは

**マニフェスト大賞**はこれまで注目を集めることの少なかった地方自治体の首長、議員や地域主権を支える市民の活動実績を募集・表彰し、発表することで、地方政治で地道な活動を積む人々に名誉を与え、更なる政策提言意欲の向上につながることを期待するものです。

(マニフェスト大賞ホームページより)



Manifesto Awards